

九工大通信

VOL.39
2011.10.01
AUTUMN

KYUSHU INSTITUTE OF TECHNOLOGY



特集

「就職に強い九工大」の秘密を探る

VOICE OF GRADUATE

日本アイ・ビー・エム株式会社

荒津 拓さん



国立大学法人

九州工業大学



就職氷河期といわれ、大学生の就職難が大きな社会問題となっています。そんな厳しい状況下でも、九工大は抜群の就職率を誇り、全国の大学の注目を集めています。なぜ、就職に強いのか。その秘密に迫ってみました。

特集 「就職に強い九工大」の秘密を探る

3つのキャンパスで連携

本学には、学生たちに社会人として必要な心構えなどを教えたり、きめ細かな就職支援、進路支援を行うキャリアセンターが設置されています。2006年4月に飯塚キャンパスに開設されたのを皮切りに、戸畑、若松キャンパスにも設置され、3つのキャンパスで連携しながら活動を展開しています。

飯塚市の情報工学部に開設されているキャリアセンターは、正門近くの研究管理棟の中にあります。全国各地の企業パンフレットや公務員関係求人票、民間企業の求人票ファイルなどを自由に閲覧することができるうえ、パソコンを使って就職関連の情報を収集できるコーナーなどもあります。センターの職員が学生の進路相談をしたり、面接のリハーサルを実施するコーナーも設けられています。情報工学部のキャリアセンターへの訪問者は年間約2200人で、多い月には300人近くの学生が利用しています。

キャリア形成教育で適性探し 入学時から一貫して就職サポート

キャリアセンターの特徴は、大学入学時から大学卒業・大学院修了までの4年ないし6年間にわたるきめ細かな就職サポートです。学生に対して、単なる進路・就職支援を行っているわけではありません。

その一つが2年生や3年生を対象にした「キャリア形成教育」です。これは自分の



徳丸 雅夫 情報工学部キャリアセンター長
1951年大分県佐伯市生まれ。74年九州工業大学機械工学科卒業後、日立製作所に入社。グループ会社の役員を経て2011年6月、情報工学部キャリアセンター長に就任。その間、1989年から日立製作所の採用プロジェクト活動にも従事。また同センターの設立にも参画し設立時より副センター長を務める。

適性に合った就職先を選択するための参考になるような動機づけを行うものです。電機、通信、IT、鉄鋼、自動車などの業界の第一線で技術者として活躍している人たちを講師に招き、それぞれの業界における技術発展の現状や将来展望について解説してもらいます。

例えば、鉄鋼業界についての講義では生産工程から販売工程までの流れの中で、技術者がどの工程にどのように関わっているか、どのようなことに苦勞して取り組んでいるかを体験に基づいて話してもらうのです。このため、学生たちにも「企業の最前線の実態がよくわかる」と好評です。徳丸雅夫・キャリアセンター長は「講師は極力、九工大のOBにやってもらっています。学生たちも先輩なので気楽に質問でき、自分の適性を考えたり、希望の職種を選択する際に参考になっているようだ。こうした教育は「自分がやりたい仕事と異なっていた」という就職後のミスマッチや中途退社、転職を防ぐことにもつながる」と話しています。

本学では、3・4年生の学生を対象に、



卒業後の技術者としての倫理観などを教える「教養教育特別講義」にも力を入れているほか、インターシッピング受け入れ企業の情報提供と応募学生の仲介を行ったり、インターシッピングガイダンスなども実施しています。

同窓生による「熱血」面接指導

本学では、各学科・専攻にそれぞれ就職担当教員を配置し、就職希望学生に対して、就職先が決まるまで責任を持って就職活動を支援する体制を取っています。

さらに、本学の特徴は先輩（同窓生）との結び付きが強いことです。先輩が就職した企業のリクルーターとして学生たちと接触する機会も多いのです。先輩が大学にやってくるまで企業の実態についてざっくりばらんに話してくれる「車座になって先輩と語ろう」というイベントも開催されています。

就職活動中の学生に対しては、面接リハーサルも行われています。模擬面接などの講師はリクルート業界の人をお願いして、面接を受ける際の注意事項などをアドバイスしてもらっています。が、実際の面接では大学の研究テーマ、研究内容について説明を求められることもあります。

学会での研究発表のように、専門用語を使つての説明では企業の面接担当者への理解は得られません。同大OBでもある徳丸・キャリアセンター長が分



かりやすい説明の仕方について、学生たちにまさに手取り足取りで個別の面接指導を行っています。

企業はどのような人材を求めているのでしょうか。徳丸・キャリアセンター長は①リーダーシップ②忍耐力③本質を見抜く洞察力④コミュニケーション能力⑤判断力⑥情報収集能力の6つの能力を挙げて「就職試験では、筆記試験の成績評価はそんなに大きなウエイトを占めていない。学生時代に社会に入って役に立つ能力を身につけてほしい」と注文をつけています。

『ダントツ』の就職実績

九工大の就職実績は、全国の大学の中でも群を抜いています。景気停滞などの影響で、全国の大学全体の内定率が過去最低水準を記録しましたが、九工大では今年3月卒業した学部生の就職率は95.9%。大学院生は99.1%でした。不況にかかわらず「ダントツ」の就職率を誇っています。学生に対する企業の評価が非常に高く、大学推薦で採用選考を受けた場合、学生1人当たり平均わずか1.7社で内定を得ています。

就職希望者の約4分の3が東証上場企業としてのグループ会社に就職。過去5年間の就職先は三菱重工業103人、日立製作所83人、公務員82人、三菱電機56人、九州電力46人、東芝44人、マツダ42人、九州日本電気ソフトウェア42人、トヨタ自動車九州40人などとなっています。

日本アイ・ビー・エム株式会社 ソフトウェア開発研究所

荒津拓さん (26歳)



グローバルなソフトウェアの開発を目指す

あらゆる分野に進出し技術的革新を続けるIT産業。世界をリードする国際的なIT企業で活躍する若き先輩、荒津拓さんを訪ねました。

システム運用管理製品を開発

— 社会に出られて2年。現在はそのようなお仕事をされていますか。
ソフトウェア開発研究所でシステム運用管理製品の開発に携わっています。現在はIT環境を効率的に管理するためのソリューションを開発する部署で、ソフトウェアエンジニアとしてプログラミンを担っています。中でも情報漏えい対策のソフトウェアを開発しています。

弊社の製品は企業システムの一部として動くことが多いので、システム全体への影響も考えながら緊張感を持って、品質の高い製品を開発しようと考えています。

役立つ基礎的知識と海外経験

— 在学中の研究を教えてください。大学での学びはどのように生かされていますか。
効率よく問題を解くための計算方法・アルゴリズムを研究テーマにしていました。データマイニングと呼ばれる分野で、例えば膨大なタンパク質のデータから新薬開発のヒントになる特定のパターンを見つけ出す技術などです。研究室で使うコンピュータの管

理もしていました。簡単なセットアップや修理でしたが、システム管理者としての立場を経験したことが、実際に会社に入って課題を見つたり正しいプロセスを理解したりするのに生かされています。

コンピュータに関する必要な知識が体系立てて学べるカリキュラムで学べたことも助かっていま

荒津 拓 (あらつ たく) さん

2007年本学情報工学部知能情報工学科卒業。09年同大学院情報工学研究科情報科学専攻修了。同年日本アイ・ビー・エム株式会社入社。現在、神奈川県大和市のソフトウェア開発研究所に勤務。



す。大学で身に付けた基礎的な知識が現在とても役に立っています。

その他にも、ICTアーキテクトコースで行ったインダのSRM大学での研修や、チェコで開かれ

目標は世界的な製品

— 現在のお仕事を志望した理由と将来の夢をお聞かせください。最後に、学生へのアドバイスをお願いします。

志望した理由は、ICTアーキテクトコースのインターンシップで実際に2カ月間お世話になってみて「働きやすい会社だな」と感じたからです。また、グローバルに活躍するエンジニアとソフトウェアの開発ができる企業は普通の日本企業ではあまりないと考えたからです。国際的にチームを組んで挑戦する点にひかれました。まだまだ若手なので、現在は製品の一部を担当している状況です。将来は全体像をデザインして、世界的なお客様に利用してもらえ、製品を作ることが目標です。

九工大は、学ぼうという意思があれば、チャンスを与えてくれるところだと思いますが、より深く学んでいくために、講義中に質

問をしたり研究内容を議論したりして先生とよくコミュニケーションをとることをお勧めします。一人の先生に対する学生数が少ない国立大学の利点を生かして、考え方や継続的に学ぶ仕組みを自分のものにしてください。

キーワード

【ICTアーキテクトコース】

高度なソフトウェア技術者を育成するため、国公立の大学院と文部科学省が推進する人材育成プロジェクト。

選ばれた大学院生は、地元企業などのプロジェクトに参加し実際に使われるシステム開発を担ったり、IT技術立国であるインドのSRM大学でグローバル化に対応できる技術基盤を学んだりします。

なお、本特別コースは終了しましたが、同様の内容が通常の大学院コース・モジュール制の中で継続的に実施されています。



情報工学部長
仁川 純一

情報工学部25周年の軌跡

情報工学部は、100年を超える歴史をもつ九州工業大学の二つ目の学部として、昭和61年10月に飯塚の地に開学しました。今年開学25周年を迎えます。従来の情報工学科とは異なる理念の下、情報社会の発展を主導する専門技術者、産業各分野の情報化を支援する情報応用技術者の養成を目指した、大規模な学部として誕生しました。

翌年の昭和62年4月に、最初の学生の受け入れが始まりました。まず、情報科学の基盤を担う知能情報工学科・電子情報工学科が開設され、翌年に、情報応用分野を担う制御工学科（現、システム創成情報工学科）・機械工学科（現、機械情報工学科）、さらに翌年、生物化学システム工学科（現、生命情報工学科）が開設され、現在の5学科体制となりま

した。また、他分野の学生の教育の場として、3年時編入生も受け入れてきました。第一期生の卒業時には博士前期課程が、その学生の修了時には博士後期課程が、全分野同時に開設されました。これらは情報工学部及び大学院への期待の現れと言えます。情報通信革命の只中、現在も、国立大学法人唯一の情報工学部として、毎年400名超の学生を、高度知識基盤社会を支える技術者として輩出しています。

また、社会人の教育の場として、平成22年度まで、情報技術セミナーを開催し、情報通信技術の普及に寄与してきました。現在は、一般向けの情報・科学リテラシーの向上、小中高校生の理系離れへの対応を目的として、サイエンスカフェや出前講義などを実施し、

大学での学習を目的としたイベントなどを開催しています。昨年には飯塚サイエンスギャラリー（ミニ博物館）を作り、情報工学や情報産業の歴史を学ぶための展示品を公開し、知の発信地としての大学でありたいと活動を行っています。

学生生活へのサポート強化として、昨年からスクールバスの運行、本年度の学生寮の設置など、学舎であるキャンパスの充実を進めています。また、新たな学部発展に向けて組織の見直しも進めています。開学後25年を経て、情報通信技術革命の進展の中で社会的要請も変わってきており、九州工業大学情報工学部が、これからも世界的にも評価される学部で有るために、今後も改革を続けてまいります。

生命体工学研究科10周年にあたって

平成12年に長い年月をかけて、先端科学技術に関する教育・研究機関の集積を図ることによって、次代を担う新たな産業の創出や、既存の地域産業の高度化に資するために北九州市若松区に北九州学術研究都市が誕生いたしました。その一翼を担っているのが九州工業大学・生命体工学研究科で、生命体の持つ優れた機能を工学的に実現し、生命科学を応用する技術者・研究者を養成しています。生命体工学研究科は生体機能専攻と脳情報専攻からなり、北九州市立大学、早稲田大学とともに国・公・私が同一キャンパスに集う教育研究拠点を形成しています。

生命体工学研究科が取り組んだ大型教育研究プロジェクトに、21世紀COEプログラム「生物とロボットが織りなす脳情報工学の世界」（平成15年～19年）があります。このプ

ログラムは難関を突破して採択されたものであり現在も高い評価を受けております。また、特色ある大学院教育として「魅力ある大学院教育イニシアティブ：出稽古修行型の方野横断研鑽システム」（平成18年採択）、「大学院教育改革支援プログラム：グローバル研究マインド強化教育プログラム」（平成19年採択）を展開しています。これらは、日々学生と接する指導陣が複眼的視野と豊かな国際感覚を有する技術者・研究者を育成するために考案したものです。この他、北九州学術研究都市の上述の3大学院による連携大学院・カーエレクトロニクスコースを平成21年に設置、カーエレクトロニクスに特化した実践的教育にも取り組み、修了生は自動車メーカー、カーエレクトロニクス関連企業に就職していま

す。

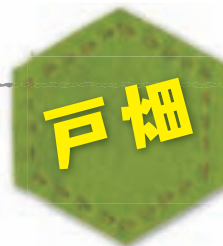
学生主体の活動として平成15年に結成された北九州学術研究都市の合同チームHibikino-Musashiは、RoboCup中型機リーグにおいて、国内大会4連覇、7月にイスタンブールで開催された2011世界大会ではロボットに用いる専門技術を競うテクニカルチャレンジで世界一になりました。

この10年間で120名の博士が巣立ち、研究教育機関だけでなく、産業界において先端技術を担う研究者・技術者として活躍しています。生命体工学研究科は、これまでの様々な取組みを更に拡充・発展させると共に、新しい研究領域を開拓し、日本を支える優れた技術者・研究者を輩出して、これからも未来に向かって挑戦し続けます。



生命体工学研究科長
西尾 一政





ラッピング電気自動車走行中!

「先端グリーンキャンパス・プロジェクト」のラッピングをした電気自動車が、九工大の戸畑・飯塚・若松の三つのキャンパスを結ぶ定期便として活躍しています。

「先端グリーンキャンパス・プロジェクト」とは、学内の技術を集めた実験施設「グリーンキューブ」で、自然の力を利用して、エネルギーを創り、省エネを行い、環境を保全することを目指して進めている事業です。本学では3年前から研究を行っています。

この電気自動車も、学内の太陽光発電による電力で走っています。



情報工学部25周年記念イベント

日時：11月19日(土) (工大祭同時開催)

場所：飯塚キャンパス(飯塚市川津680-4)

10:00 ホームカミングデイ
(インタラクティブ学習棟[MILAiS])

知能情報工学科、電子情報工学科一期生(平成3年卒)の皆様をお招きして、懐かしい恩師やクラスメートとの再会と交流、親睦を深めて頂きたいという思いを込めた企画です。会場のインタラクティブ学習棟(MILAiS)は今年4月に完成した新しい施設です。ご家族様も是非一緒に、大学の近況や工大祭をお楽しみ下さい。

13:00 記念式典 (500人講義室)

13:30 記念講演 (500人講義室)

講師：古川 一夫氏 一般社団法人 情報処理学会会長
(株式会社日立製作所 元代表取締役社長)

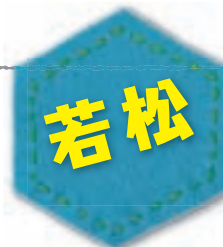
お問い合わせ先

九州工業大学情報工学部総務係

〒820-8502 飯塚市川津680番4

E-Mail：jho-soumu@jimu.kyutech.ac.jp

TEL：0948-29-7500



大学院生命体工学研究科10周年記念シンポジウム ロボットが拓く21世紀の環境にやさしい社会

日時：10月20日(木) 13:00～17:00

場所：北九州学術研究都市会議場
(北九州市若松区ひびきの2-3)

第1部 13:10～15:00

ロボット関連シンポジウム

第2部 15:10～17:00

環境関連シンポジウム

お問い合わせ先

九州工業大学大学院生命体工学研究科総務係

〒808-0196 北九州市若松区ひびきの2-4

E-Mail：sei-soumu@jimu.kyutech.ac.jp

TEL：093-695-6003

表紙写真
[山口研究室/
工学部
マテリアル工学科]

私たちは、環境に優しい材料の開発を目指しています。構造物や製品などの破壊や摩耗、腐食の発生箇所が多く、環境と接している材料表面から生じます。

そこで、私たちはレーザー加熱によって材料表面に新たな機能を持つ層を形成したり、材料表面の極表層に新規な特性を付与したりした金属材料の開発を行っています。これはレーザービームが高エネルギー密度の熱源で、急速加熱・急速冷却が可能であるために実現できるのです。

溶接・接合技術は構造物製造のためには重要な基盤技術です。自動車産業で多用されているスポット溶接や、真空中で熱間圧延接合する装置を用いてアルミニウムと鋼、銅などの異種金属の溶接・接合についても研究しています。(山口富子准教授)



九工大通信では、皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。

宛先

九州工業大学総務課広報企画係

〒804-8550 北九州市戸畑区仙水町1-1 Tel:(093)884-3007 Fax:(093)884-3015

メールアドレス：sou-kouhou@jimu.kyutech.ac.jp

卒業生のキャリアが分かる!

「Career Style Book」 を発行!



学部から大手総合電機メーカーへ就職。
入社 27 年目に社会人ドクターを取得。

株式会社日立製作所

★学校推薦で内定★



私が高校生だった頃...

福岡県立修猷館高等学校

〇部活動 弓道部

〇性格・特徴 天井に「誠心」の張り紙をして寝るほどの大真面目

PROFILE

佐野 貴彦さん

大学院生命体工学研究科

生体機能専攻

2011年博士修了



本年4月、本学の卒業生たちが高校生だった頃から現在の社会人としてのポジションを築くまでを辿った「Career Style Book」を発行しました。冊子発行と同時に「Career Style WebBook」をHPに掲載。こちらは冊子よりも多くの卒業生の情報をご覧いただけます。

部活一筋の高校時代を送った先輩、文系から理転した先輩、仕事と子育てを両立させている先輩など、様々なキャリアスタイルを紹介しています。また、後悔しない学生生活の過ごし方、就活のヒントも満載です。是非ご覧ください。

就職先 TOP25

本学は、企業からの高い評価をいただいております。毎年高い就職実績を誇っています。

順位	企業名	就職者数	順位	企業名	就職者数
1	日立製作所	15	12	アイシン精機	5
2	九州電力	14		エコー電子工業	5
3	三菱重工業	11		オービック	5
4	トヨタ自動車九州	8		キャノン	5
5	NTTデータ	6		ワークスアプリケーションズ	5
	トヨタテクニカルディベロップメント	6		安川電機	5
	新日鉄ソリューションズ	6		京セラ	5
	新日本製鐵	6		三洋電機	5
	東芝プラントシステム	6		川崎重工業	5
	日立ソリューションズ	6		大日本印刷	5
	飯塚病院	6		富士電機ホールディングス	5
12	RKKコンピュータサービス	5		本田技研工業	5
	アイシン・エイ・ダブリュ	5			

平成23年3月学部・大学院卒業生